

中堅介護職員研修会を開催しました!!



12月12日(金)、仙台市介護人材確保取り組み実行委員会主催の研修会を開催。35名の中堅職員のみなさんと「コーチングとコミュニケーション」をテーマに、グループワークを通して職員育成と定着支援について学びました。講師は実行委員でもある特別養護老人ホーム青葉ふるさと村の施設長・新沼清孝氏です。

「人が育ち定着するチーム」をつくらう!!

資格や技能を活かせる働きがいのある仕事😊と選んだ介護職を長く続けてもらうには、どんな支援や職場環境づくりが必要でしょうか。

それには、心理的安全性を高めることも重要なポイントです。

異なる意見でも互いに発信しあえる環境づくりに必要な5つのポイントを学んだほか、グループワークでは人材定着や育成の悩み共有、職場で取り組んでいる、働きやすくやりがいを感じられる職場づくりの工夫について話してもらいました。

研修前に名刺交換や談話を
して過ごす中堅職員のみなさんは
コミュニケーションスキル
が高い!!



コーチングスキルを 高めよう ✨ ✨

～職員の課題解決・成長をサポート～



コーチングスキルとは「相手が自ら気づき、課題を解決し、目標を達成できるように支援するため」の対話力。スキルを高めるには、信頼関係の構築も重要です。本音で対話できる安心感がなければ、相手の言葉の本質や感情を引き出し、理解することが難しくなります。相手の状況や考えを正確に理解できるよう、聴く姿勢にも配慮し、目、耳、心で共感・共有することが大切だということを学びました。

※「コーチングスキル：5つの基本」傾聴、質問、承認、フィードバック、リクエスト

「成長できると感じる環境は職場への愛着を高め、人が育ち、辞めない」と言われています。中堅職員のみなさんには、コーチングスキルを活用したコミュニケーションを通じて、職員一人ひとりの成長や動機づけを促し

「やりがいのある職場づくり」

の中心的な役割が期待されています。理念や目標実現のためにメンバー全員が協働し、おぎない支え合いながら信頼関係を深められる職場づくりにつなげてほしいと思います。

😊 中堅職員の役割 😊

～メンバーの目標となる
チームリーダーになろう～

